

## 静岡県第4次地震被害想定（第二次報告）の概要 及び沼津市における被害想定

東日本大震災や科学的知見等を活かし、静岡県では本年6月、第4次地震被害想定「第一次報告」として津波高、津波浸水域及び人的・物的被害等を公表しました。

今回、「第二次報告」として11月29日に、県から上・下水道、電気、ガス等のライフラインや道路、鉄道等の交通施設被害等が市町別に公表されたため、その概要をお知らせします。

なお、町丁目別の被害想定は、第二次報告では公表されませんでした。今後、準備ができ次第公表される予定です。

### 被害想定目的

東日本大震災の教訓を活かし、レベル1・レベル2の地震・津波を想定した被害想定を実施し、今後の地震・津波対策の基礎資料として活用

### 第二次報告の想定条件

区 分	内 容	
	静岡県	沼津市
建物数	約142万棟	約68,500棟
人口	約376.5万人	約225,300人（昼）
地震動、津波 人的・物的被害	第一次報告（6月27日）の想定結果による レベル1：東海・東南海・南海地震 レベル2：南海トラフ巨大地震 （地震動：基本、陸側、東側ケース 津波：ケース）	
想定シーン	建物被害が最大となる「冬・夕」を基本とする	
沼津市の想定結果	別紙のとおり（レベル2は基本ケースとする）	

### 第二次報告の想定項目

区 分	主な想定項目（市町別）
ライフライン被害	上水道、下水道、電力、通信、ガス
交通施設等の被害	道路、鉄道、港湾、飛行場、ヘリポート
生活支障等	避難者、物資不足、医療機能支障、住機能支障、し尿・ごみ・瓦礫
経済被害	直接的経済被害、間接的経済被害（県全域のみ）
その他の被害	エレベータ閉じ込め、災害時要援護者、文化財被害 等

## 沼津市における想定結果の概要

区分（主なもの）		概要
ライフライン	上水道	発災直後：ほぼ全域で断水 1週間後：50%断水      1ヶ月後：ほぼ復旧
	下水道	市内で排水困難な地区が発生 応急復旧はレベル1で1週間、レベル2で1ヶ月程度
	電力	発災直後：90%停電 応急復旧はレベル1、2とも1週間程度
	通信	〔固定電話〕 発災直後：90%不通 応急復旧はレベル1で1週間、レベル2で1ヶ月以上 〔携帯電話〕 1日後非常につながりにくい状態 応急復旧はレベル1で4日後、レベル2で2週間程度
	ガス	〔都市ガス〕供給停止戸数はレベル2で約26% （ただし埋設管被害は考慮していない） 〔LPガス〕機能支障戸数はレベル2で約20%
交通施設等の被害	道路 (緊急輸送路)	東名・新東名：大きな被害なし。 国道1号：一部区間で不通。1ヶ月間交通規制 その他：一部区間で橋梁損傷、山崖崩れ、液状化、津波等により不通。 いずれの道路も一般車両通行は1ヶ月以上
	鉄道	新幹線：大きな被害はないが一時運行停止 在来線：運行に支障が生じる
	港湾	4日目以降に緊急物資の海上輸送が行われる レベル2は短期間での復旧は困難なことも考えられる
	ヘリポート	離着陸場内に住民が避難していたり、アクセス道路被害で輸送機能に支障が生じる可能性がある
生活支障等	避難者	発災直後：レベル2で避難所へ約3万人が避難 1ヶ月後：レベル2で避難所は約5千人まで減少
	物資不足	1～3日間は充足。レベル2では4日目以降（7日目まで）は食料が約38,000食の不足が生じる
	し尿	仮設・簡易トイレは充足

### 沼津市の今後の方針

- ・第二次報告の概要は上記のとおりであるが、想定された数値の根拠や被害要因を今後、細かく分析・検証する。
- ・第一次報告及び第二次報告の検証結果を踏まえ、沼津市地震・津波対策アクションプランに必要な対策を取りまとめていく。